

令和2年7月13日

令和2年度水稻生育定期調査結果 No.4-2 (7月6日現在)

岩手県農業研究センター生産基盤研究部 生産システム研究室・県北農業研究所 作物研究室
(生産基盤研究部)TEL:0197-68-4413、FAX:0197-71-1081(県北研究所)TEL:0195-47-1074、FAX0195-49-3011

※7月6日現在の稲体栄養・土壌窒素の調査結果報告

(生育調査結果等については、水稻生育定期調査結果 No.4 で報告済み)

地上部乾物重、稲体窒素、土壌窒素 (7月6日現在)

(1) 農業研究センター (北上)

地上部乾物重は平年並みで、稲体窒素濃度は平年より高く、稲体窒素吸収量は平年より多くなっている。土壌中アンモニア態窒素濃度は、平年並み～低くなっている。

(2) 県北農業研究所 (軽米)

地上部乾物重は平年より軽く、稲体窒素濃度は平年並み、稲体窒素吸収量は平年より少なくなっている。土壌中アンモニア態窒素濃度は、平年より低くなっている。

表1 地上部乾物重、稲体窒素吸収量、土壌窒素量 (7月6日)

調査項目	単位	年次	農業研究センター (北上)			県北農業研究所 (軽米)
			ひとめぼれ	あきたこまち	銀河のしずく	いわてっこ
地上部乾物重	(g/m ²)	本年	262	255	269	186
		平年	264	253	272	229
		平年比	99%	101%	99%	81%
稲体窒素濃度	(%)	本年	2.8	2.9	2.9	2.1
		平年	2.3	2.2	2.2	2.3
		平年差	0.5	0.7	0.7	-0.2
稲体窒素吸収量	(g/m ²)	本年	7.2	7.4	7.8	3.9
		平年	6.0	5.6	5.9	4.7
		平年比	120%	132%	132%	83%
土壌中アンモニア態窒素	(mg/100g乾土)	本年	0.7	0.8	0.9	1.2
		平年	0.9	0.9	0.9	1.8
		平年比	-0.2	-0.1	0.0	-0.6

※「平年」は、農業研究センターは平成27～令和元年、県北農業研究所は平成25～27、30～令和元年の平均

※「いわてっこ」は、平成29年までは県北農業研究所、平成30年から県北農業研究所隣接の現地水田で供試

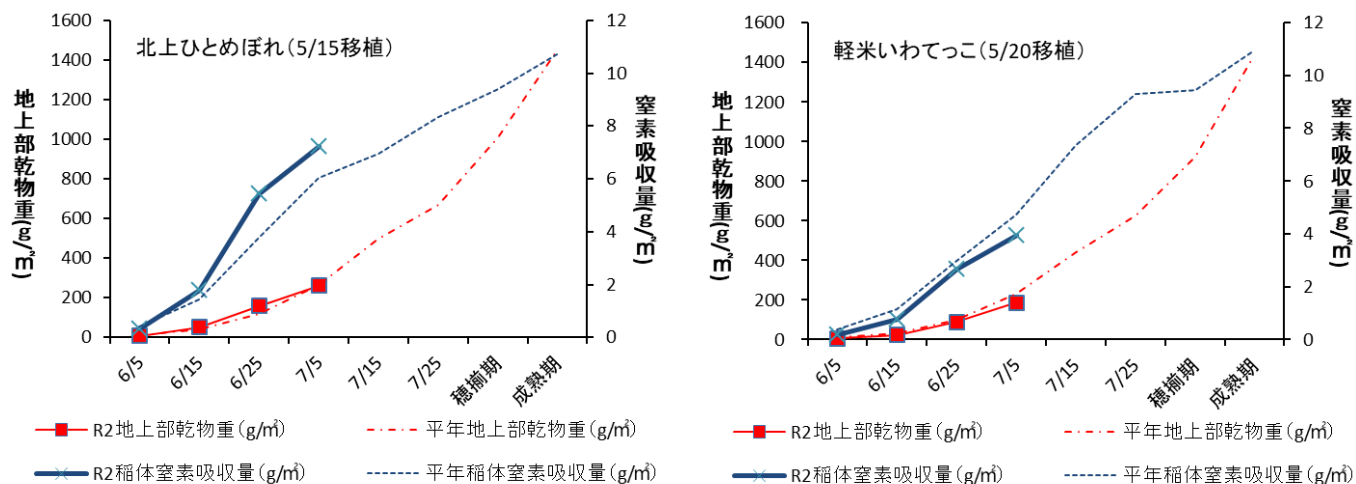


図1 地上部乾物重と稲体窒素吸収量の推移
(左側から、北上「ひとめぼれ」、軽米「いわてっこ」)

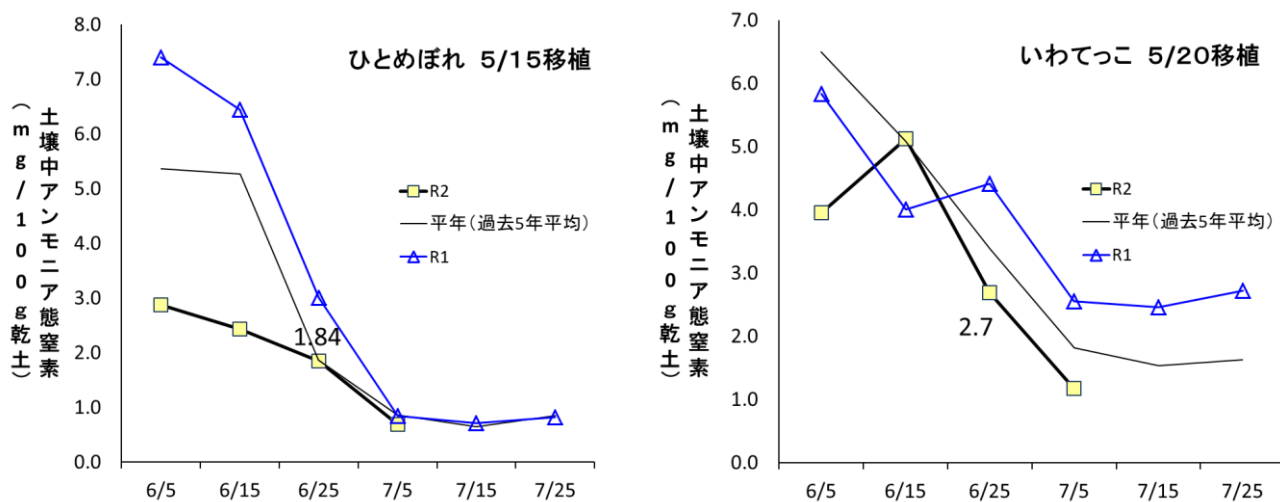


図2 土壌中窒素量の推移
(左側から、北上「ひとめぼれ」、軽米「いわてっこ」)